

平成 29 年度 ポスト「京」重点課題 2 シンポジウム

その予防・医療、 時代遅れです

ビッグデータ × シミュレーション × ポスト「京」=  * ∞

ゲノム解析技術の劇的な革新と高精度計測技術の急速な進歩は、多様かつ膨大な健康・医療データを生み出し、より広い視点から生命を捉える必要性を私たちに訴えかけています。シンポジウムでは、医療応用をめざし計算生命科学分野で研究開発を行っている研究者とともに、ビッグデータをいかに構築し、いかに現場で活用するかを考えます。ポスト「京」コンピュータを用いた医療技術・予測医療の未来がここにあります。

2017.11.13 月 13:30-17:05

会場 秋葉原UDXギャラリー4F Type S
東京都千代田区 (JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分)

定員 200 名程度

主催 ポスト「京」重点課題 2 個別化・予防医療を支援する統合計算生命科学

協賛 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究(複合領域 4701) がんシステムの新次元俯瞰と攻略 4

Program

- | | |
|-----------------------|--|
| 13:30-13:40 | 開会挨拶
東京大学医科学研究所 教授 宮野 悟 |
| 13:40-14:30
【基調講演】 | 脳の血流低下が認知症を引き起こす？
～脳循環の 3D 顕微鏡イメージングで分かってきたこと～
電気通信大学 脳科学ライフサポート研究センター 教授/サブ課題 B 課題協力者 正本 和人 |
| 14:30-15:10 | 脳循環調節機構の解明に向けた全脳循環シミュレータの構築
～複雑構造を持つ循環系の再現～
大阪大学大学院基礎工学研究科 特任准教授/サブ課題 B 課題参加者 伊井 仁志 |
| 15:30-16:10 | 基礎医学と臨床医学をつなぐ夢の懸け橋～ポスト「京」が必要なわけ～
(株) UT-Heart 研究所 代表取締役会長/サブ課題 C 課題責任者 久田 俊明 |
| 16:10-16:50 | スパコンが明らかにするがんの免疫回避のメカニズム
京都大学大学院医学研究科 教授/サブ課題 A 分担責任者 小川 誠司 |
| 17:00-17:05 | 閉会挨拶 |

参加費
無料

詳細とお申し込み

シンポジウムのホームページをご覧ください。

<http://postk.hgc.jp/sympo2017>



お問い合わせ

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター DNA情報解析分野
ポスト「京」重点課題 2 事務局 [✉ icls-office@hgc.jp](mailto:icls-office@hgc.jp)



ポスト「京」
重点課題 2

個別化・予防医療を支援
する統合計算生命科学

Integrated Computational Life Science